

(様式2)

議員行政視察報告書

議員名	石川厚子
視察地	府中市
視察年月日	令和8年1月15日
視察内容（目的・具体的内容・成果等）	
府中市地域公共交通計画について	
1、 計画策定に至った背景	
・人口減少の本格化に伴い、公共交通の維持・確保が厳しくなる中、高齢者等の移動手段の確保が課題	
・すべての地方公共団体で地域公共交通計画を策定することが努力義務	
2、 計画の目的	
・地域、交通事業者、行政などが一体となり、府中市の地域公共交通のあるべき姿を示す	
・地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針の決定	
「府中市地域公共交通計画の基本的な方針」	
・誰もが自由に移動ができる	
・まちづくりと連携した	
・持続可能な地域公共交通	
3、 計画の概要	
・計画の対象＝福祉輸送、施設送迎バス、シェアサイクル、他多様な輸送資源	
・目的・評価指標	
①市内各所から市中心部へのアクセスを効率的・効果的に確保する	
②地区内における生活・移動をより便利にする	
③地区間や市内外への移動の利便性を維持・向上する	
④年齢やライフステージ、身体状況等によらず、市民が必要な移動ができるよう	
⑤誰もが安心・快適に移動できるようにする	
⑥交通サービスを将来にわたり提供できるようにする	

4、 基本方針の進捗状況

① 地域公共交通ネットワークの再編（鉄道ネットワークの活用）

② 地域公共交通ネットワークの再編（バスネットワークの効率化）

再編コミュニティバス路線 現在7路線を令和8年4月より11路線に！

→大型バスの運転手が減っている現状でも、タクシー運転手にコミュニティバスを運転してもらう

5、 今後の課題

7路線が11路線になることにより運行間隔が長くなる区間もある

6、 視察を通して

府中市が運行するちゅうバスは年齢に関係なく（したがって寿バスカードなど必要なく）1乗車100円ということがわかった。

旭川市も寿バスカードの交付時負担金の値上げなど、している場合ではない

(様式2)

議員行政視察報告書

議員名	石川厚子
視察地	小田原市
視察年月日	令和8年1月16日
視察内容（目的・具体的内容・成果等）	
生活保護行政について	
1、小田原市福祉事務所の組織体制	
機構改革により「生活支援課」から「生活援護課」に課名変更	
班・チームを編成し、組織的に業務を行う	
4班で、窓口支援管理、ケースワーカー同士でファイルチェック、退院促進事業（長期入院者→介護）など	
5チームで、自立支援プログラム、中間的就労、本締めの確認業務、無料低額宿泊所及びホームレス関連業務など	
2、検討会の設置経緯	
平成29年1月に発覚した「保護なめんな」ジャンパー事件	
「なめんな」は市の他の部署に対してであったが、抗議の電話が鳴り続く	
検討会設置 座長は井手英策氏（慶応義塾大学経済学部教授）	
座員に釧路市の櫛部武俊氏など	
対応のスピード感と徹底した情報開示	
3、検討会を踏まえた改善策の取組事例	
①援助の専門性を高める研修や連携による学びの場の質的転換	
・外部の専門家による生活保護制度や法的支援の研修	
・関係所管による定期的な事例検討等の機会の創設	
②利用者の視点に立った生活保護業務の見直し	
・確定版「保護のしおり」を策定、生活保護「受給者」から「利用者」へ	
・生活保護申請から決定にかかる日数の短縮（原則14日以内）	
・年3回「援護課通信」を発行	

③利用者に寄り添い、ケースワーカーが職務に専念できる体制づくり

- ・ケースワーカーの標準配置数の充足と専門職の拡充

令和7年7月1日現在 法定数35人 配置数35人（一人当たり88.6世帯）

- ・女性ケースワーカーの増員 2人→7～8人

④「自立」の概念を広げ、組織目標として自立支援の取組を掲げる

- ・小田原市民が満足するセーフティネットの実現を視野に入れる
「福祉まるごと相談」窓口を設置

⑤市民にひらかれた生活保護を実現する

- ・生活保護の現場をみんなが異動したくなる職場にする

4、改善策の効果

- ・クリアファイルによる事務書類の見える化

導入前 机上、引き出しなどに分散して格納されていた

導入後 赤・処理が重いもの 黄・比較的処理の軽いもの

青・つづるだけのもの

- ・「見える化」により、業務共有、把握に役立ち、フォローしやすい環境の整備
自身の業務、机上の整理にも効果があった
- ・市民アンケートの結果

ジャンパー事件以降、市の生活保護改革は努力している 55%

市のケースワーカーの姿勢がよくなった 43%など

5、今後の課題と展開

- ・ジャンパー事件当時の職員がほとんど異動し、当時の危機感が薄れてきている
- ・若手の職員が比較的多く、ノウハウの継承が難しい
- ・あり方検討会を受け実施している改善策をブラッシュアップしていく
- ・ノウハウ継承のためのマニュアル作成を行う

6、視察を通して

旭川市で、生活保護関係書類の流出と生活保護費の未支給という不祥事が起きた直後の視察だったため、福祉保険部に、小田原市のように赤・黄・青といったファイルに分類し「見える化」するよう指摘した。